令和5年度西成特区構想エリアマネジメント協議会
第2回環境健康専門部会 議事要旨

1 日 時 令和6年3月13日(水) 午後6時から午後7時45分まで

2 場 所 西成区役所4階会議室 4-8会議室

3 出席者
(有識者)

垣田大阪公立大学大学院教授
寺川近畿大学准教授(途中参加)

(行政関係者)

【西成区】

鶴見保健担当課長、櫻田保健担当課長代理
田中市民協働課長、古田地域支援担当課長 他1名

【環境局】

今津南部環境事業センター事業推進担当課長

【建設局】

西尾津守工営所事務総括担当課長 他1名

【事務局(西成区)】

柏木総合企画課長、狩谷企画調整担当課長代理 他3名

(地域メンバー)

【北津守地域】

森澤連合振興町会長

【南津守】

吉村連合振興町会長

【天下茶屋地域】

上野連合振興町会長

4 議題及び要旨

(1) 不法投棄対策について

西成区役所総合企画課より、資料に基づいて、令和5年度における西成区内での不法投棄対策の結果について報告、説明がなされた。

《地域メンバーからの意見》

- ・空地への不法投棄が課題であったが、その空地の所有者も被害者であるという意識で固まっていた。その点を解きほぐして当事者意識を持たせることができたことが、ポイントであったと思う。
- ・フェンスがあれば、おおきなごみは捨てられにくくなるが、不法投棄が何処に流れたということにも留意する必要がある。
- ・土地は使われないとこのようなことになる。大きな話になるが空地としてさせないことが肝要だという事。

《行政の応答》

- ・現状の取り組みを地道に継続させていきたい。3つのポイントを踏まえて、まずは行政で連携して取り組んでいく。また、日常における監視というところで、近隣地域の方々にご協力を賜りたい。
- ・空地への不法投棄については、近隣地域がその空地の所有者を存知していない

ケースも。登記により所有者の情報はある事ができるとしても、実際にどのようにアプローチをかけていくのか。引き続き検討しなければならない。

《有識者からの意見》

- ・今年度は特に問題であった事例に取り組んだと思われるが、来年度も継続して取り組む中で、見えてきた3つのポイントを念頭に、できるかぎり一般化して他所でも取り組めるように。
- ・空家・空地と不法投棄は密接に関係があるということ。フェンスを立てることと、空地を活用できればごみを減らせる。他都市では民間の空地に整備補助を出して近隣地域などに共用させるという施策もあると聞く。

(2) 西成区の結核対策について

西成区役所保健担当より、資料に基づいて、令和5年度における西成区内での不法投棄対策の結果について報告、説明がなされた。

具体的には、資料にある4つの柱のとおり対策を進めた。令和5年度の結核罹患率は78.5と前年に比べ増加したが、コロナ渦中で受診を控える傾向もあったと思われるので、その反動とも考えられる。

引き続き組むことで第三期特区構想中に数値目標である45を実現させたい。

《地域メンバーからの意見》

- ・国民健康保険の特定健診の案内の中に、結核検診の受診勧奨を同封してはどうか。
- ・高齢者は、かかりつけ医にかかっている割合が高い。比較的若い世代に絞った勧奨活動がよいのではないか。

5 会議資料

- (1) 環境健康専門部会委員名簿
- (2) 西成区における不法投棄対策について
- (3) 西成区の結核対策について